



## 腕時計共通説明書 保証規定

この度は弊社製品をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、  
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

## 製品取扱上のご注意

### ・以下の場所での携帯・保管は避けてください

- 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
- 5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ
- 磁気や静電気の影響があるところ
- 強い振動のあるところ
- 高湿度なところ
- ホコリの多いところ

### ・アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

### 直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

## 特長 / 各部の名称



※機種によって曜日・日付や秒針がないものもあります。

### ■ 充電を心がけましょう

この時計は文字板の下にあるソーラーセルで受けた光を電気エネルギーに換え、電気を蓄えながら動いています。

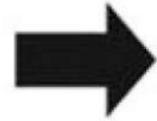
エネルギー残量が少ないと正常に動きません。光のあたるところに置く・保管するなど、日常的に十分な充電を心がけましょう。

**\*ソーラー充電式でない通常電池式モデルは充電の必要はありません。**

## ■ 時刻合わせ

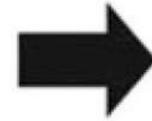
りゅうずを  
引き出します。

3針時計の場合は  
秒針が12時の位置  
で引き出します。



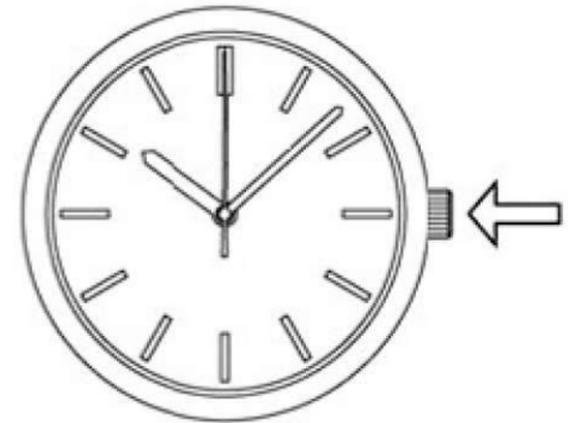
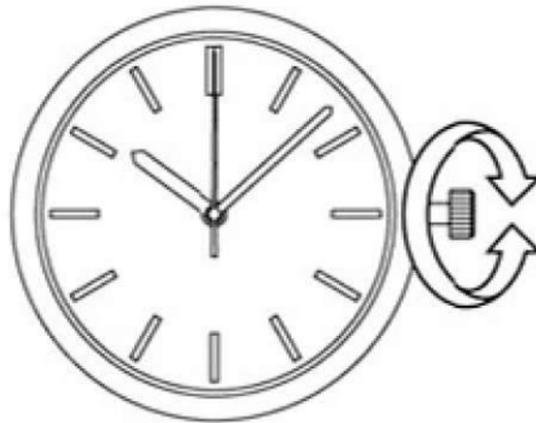
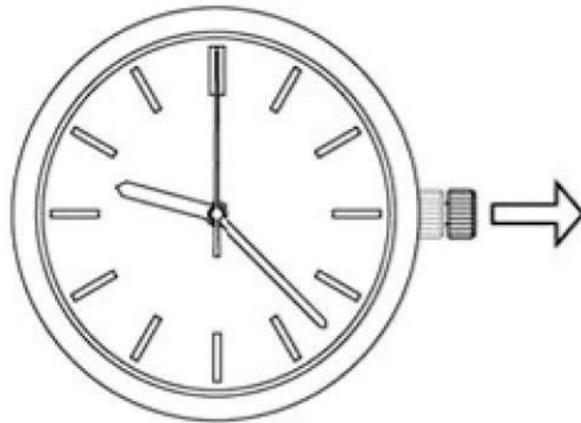
りゅうずを回して  
時刻を合わせます。

正確に合わせるために  
分針を正しい時刻より  
4~5分進めてから逆に  
戻して合わせてください。



りゅうずを  
押し込みます。

3針時計の場合は  
時報と同時にりゅうず  
を押し込みます。



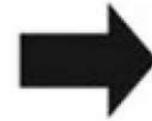
## ■ 日付(曜日)の合わせかた (午後9時~午前4時の間には行わないでください)

りゅうずを1段  
引き出します。

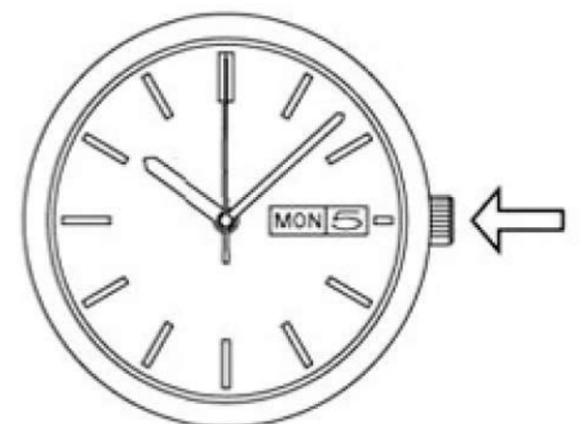


りゅうずを回して  
日付(曜日)を  
合わせます。

曜日は日本語・英語  
お好みの方に合わせ  
てください。



りゅうずを  
押し込みます。



※機種により、曜日(日付)が逆の場合もあります。

## 日付の修正が必要な場合

日付は31日周期で切り替わります。  
1か月が31日に満たない月の翌月は日付を修正してください。

## 日付の修正をしてはいけない時間帯

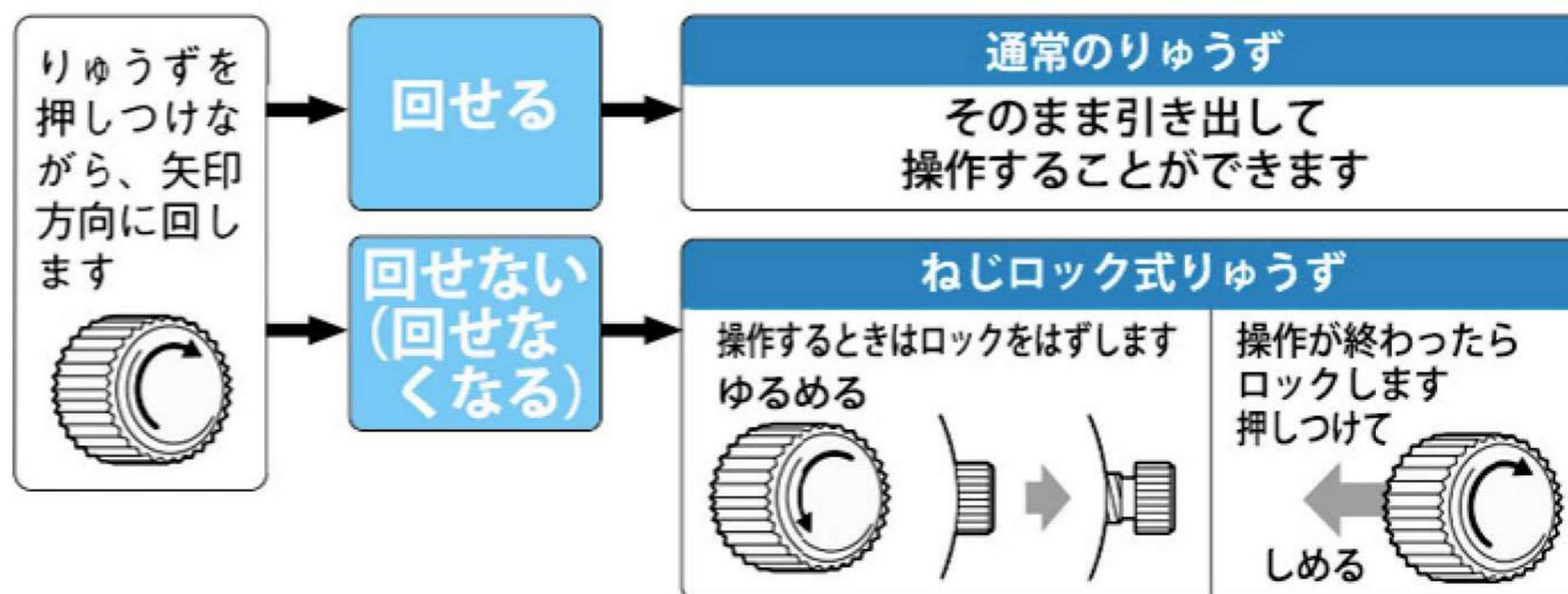
日付つきモデルの場合 午後9時～午前1時  
日付・曜日つきモデルの場合 午後9時～午前4時  
(故障の原因になります)

## 日中に日付が切り替わる場合

午前と午後が合っていません。時刻を12時間進めてください。

## リューズについて

リューズには、通常のものと同ロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。  
お使いの時計のリューズをご確認ください。

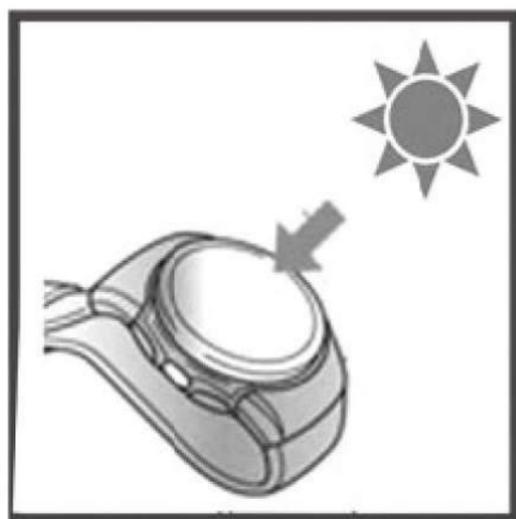


※ねじロック式リューズは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。  
※ねじロック式リューズは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

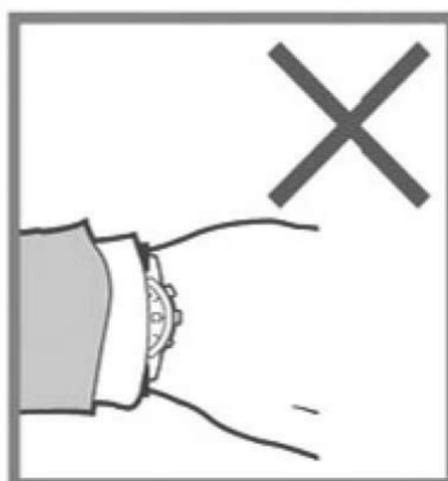
# 充電について

## ■ 充電のしかた

文字板に光をあてて充電してください。



快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。



以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、時計が止まる可能性が高くなります。

- ・時計が衣類の袖の中に隠れている
- ・光のあたりにくい環境での使用や保管が続く

※ 充電の際は、時計が高温にならないようにご注意ください。(作動温度範囲は次ページを参照してください)

※ 充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、次ページの表をめやすに十分な充電を行ってください。

※ 秒針が2秒おきに動くのはエネルギーが切れる合図です(秒針つき時計の場合)

## ■ 機種別充電時間のめやす／精度について

- ・機種により充電所要時間が異なります。安定して運針するために充電時間③までの充電をお勧めします。

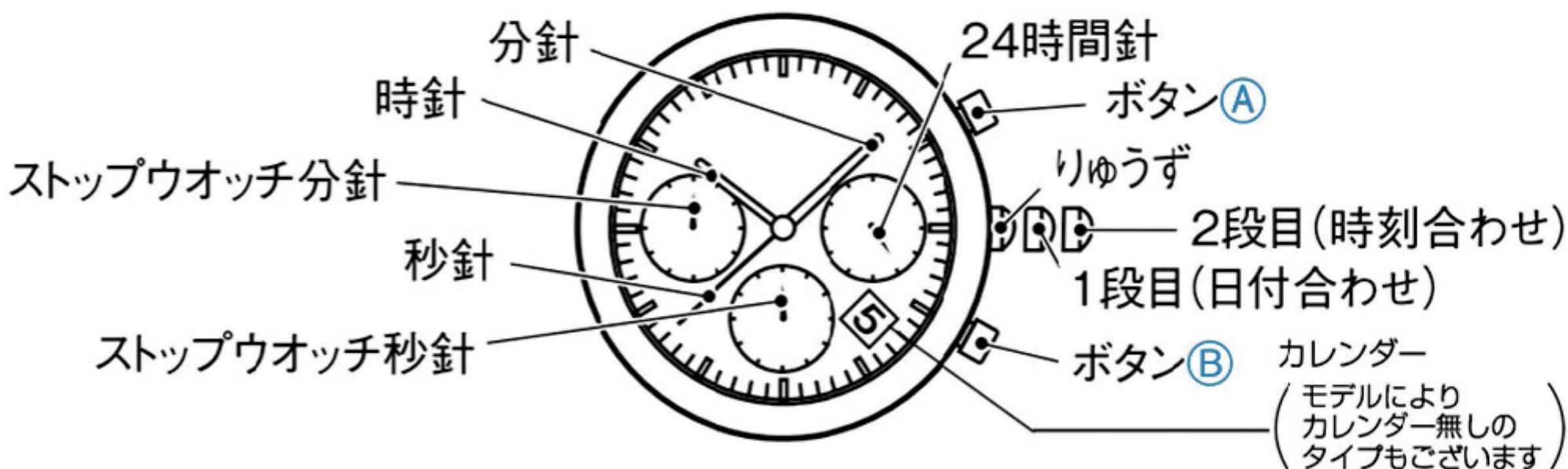
照度 lx(ルクス)	光源	環境 (めやす)	3針モデル			2針モデル		
			A(分)	B(時)	C(時)	A(分)	B(時)	C(時)
700	蛍光灯	一般オフィス内	180	60	—	180	60	—
1万	蛍光灯	30W 5cm	12	4	60	12	4	60
	太陽光	くもり						
10万	太陽光	快晴 (夏の直射日光下)	2	0.5	10	2	0.5	10
フル充電からの駆動持続時間			約 4ヶ月			約 10ヶ月		
精度(平均月差)			±20秒					
作動温度範囲			- 5℃~+50℃					

**A:**1日分を補充するために必要な時間 **B:**時計が止まっている場合に、安定した運針\*になるまでに必要な時間

**C:**フル充電までに必要な時間

※充電に必要な時間はモデルによって若干異なります。※精度は常温[5~35℃]において腕につけた場合のものです。

## クロノグラフ使用方法



基本操作方法は保証書記載の「■時計と日付の合わせ方」をご参照ください。  
ストップウォッチ分針・秒針が12時の位置に合っているか確認ください。  
合っていない時は次の手順に沿ってお合わせください。

### ●ストップウォッチ分針・秒針の合わせ方

- ①リュウズを2段引きます。
- ②ボタンAまたはボタンBを押して12時の位置に合わせます。(長押しすると早送り出来ます。)
- ③リュウズを押し込みます。  
※ストップウォッチ分針はストップウォッチ秒針が1周するごとに動きます。

- 24時間計はリュウズを2段引いた状態でリュウズを回転させて、時間合わせを行っていくと連動して動きます。

## ●ストップウォッチの使い方

### ①普通の使い方

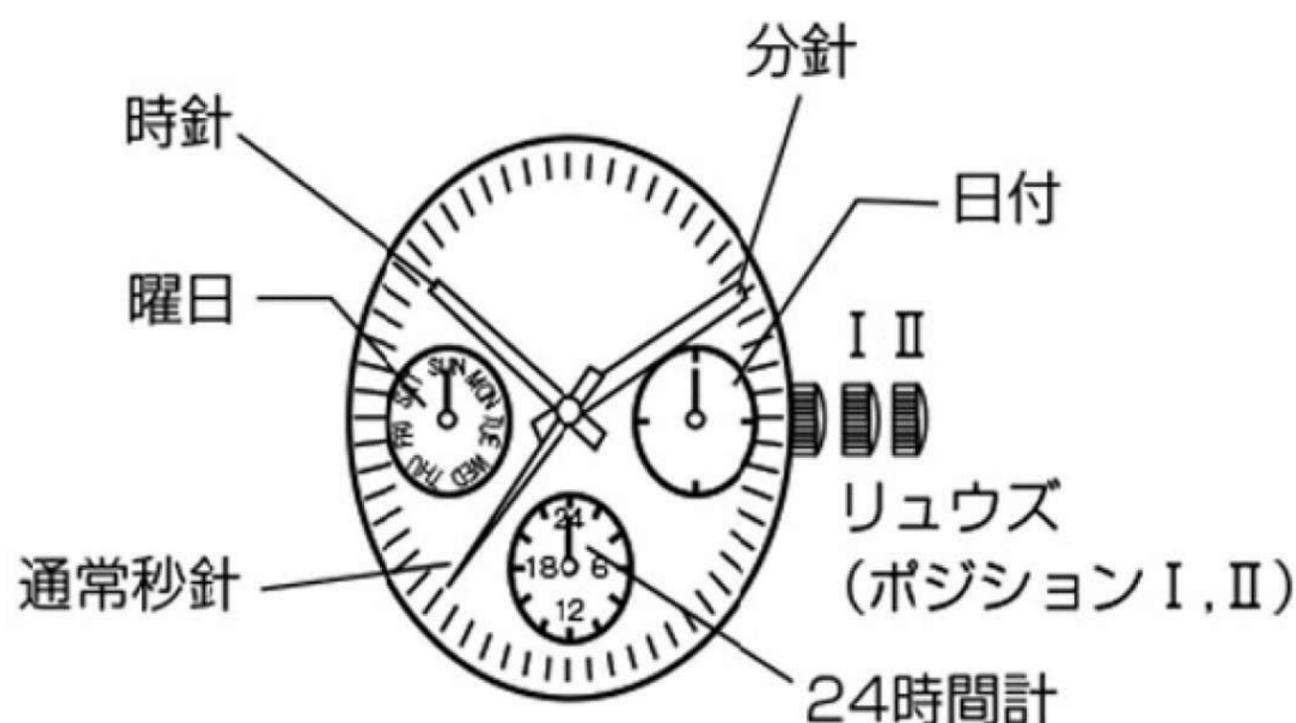
ボタンA→ボタンA→ボタンB(スタート→ストップ→リセット)

### ②時間計測を精算でおこなう時

ボタンA→ボタンA/ボタンA→ボタンA→ボタンB(スタート→ストップ/スタート→ストップ→リセット)

途中ストップ、スタートは何回でも繰り返す事が出来ます。

## マルチファンクション(日・月・曜日)使用方法



## ●日付・時刻・曜日の合わせ方

リュウズを2段式に引き出せる様になっております。

【日付】1段引き出した状態(ポジション I)でリュウズを6時方向に回すと日付を調整できます。

【時刻】2段引き出した状態(ポジション II)でリュウズを12時方向に回すと時刻を調整できます。

【曜日】2段引き出した状態(ポジション II)で合わせたい曜日まで時刻を進めてください。

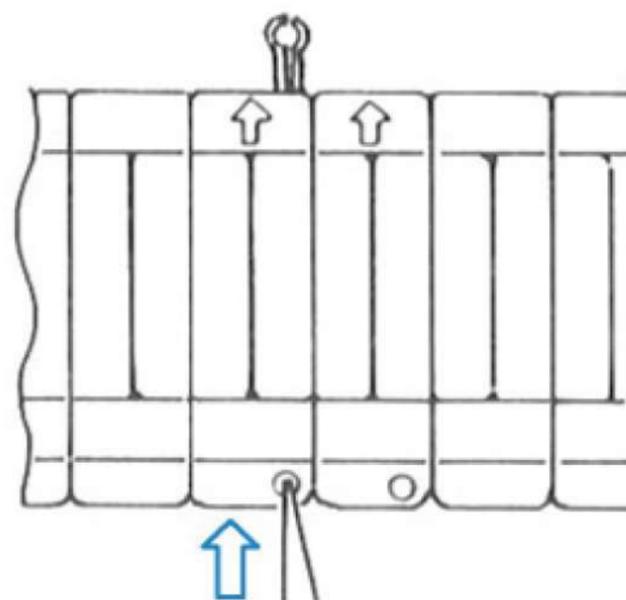
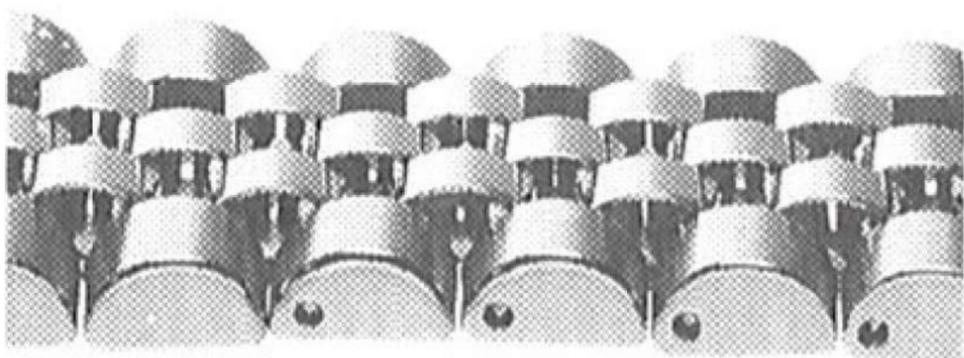
※24時間計は通常の時刻と常に連動しておりますので、調整はできません。

調整後必ずリュウズを通常位置に戻してからご使用ください。

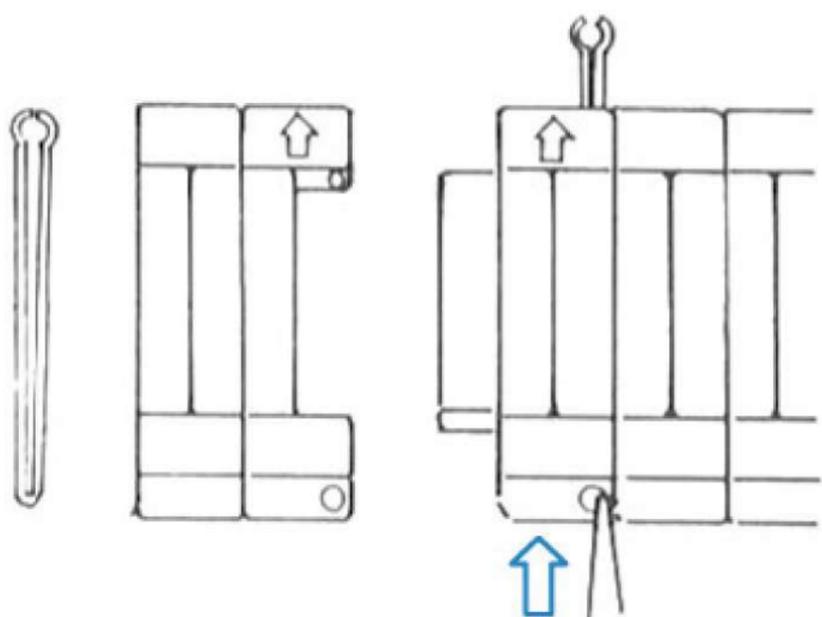
# バンドサイズ調整

## A.ヘアピン方式

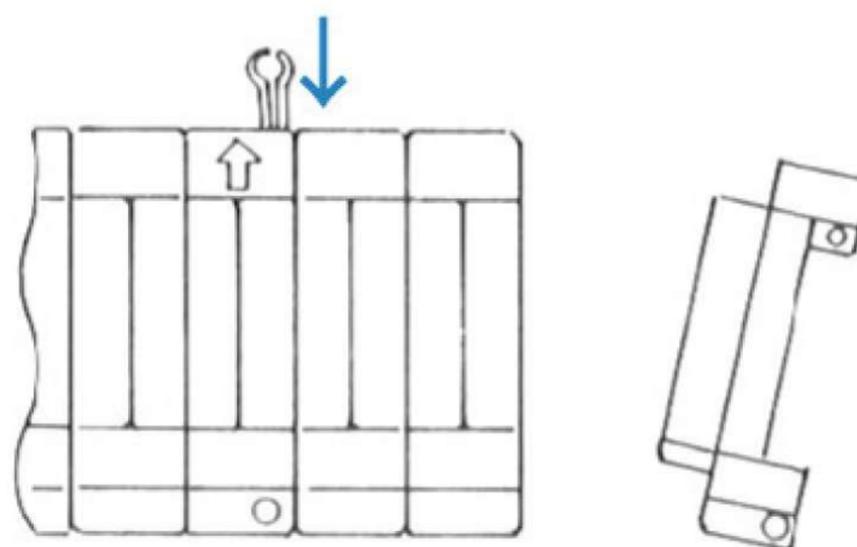
代表的にはブロック・バンド。



(1) サイド駒のアジャスト穴に目打ち状の物を入れ、矢印方向に押してアジャストピンを押し出します。



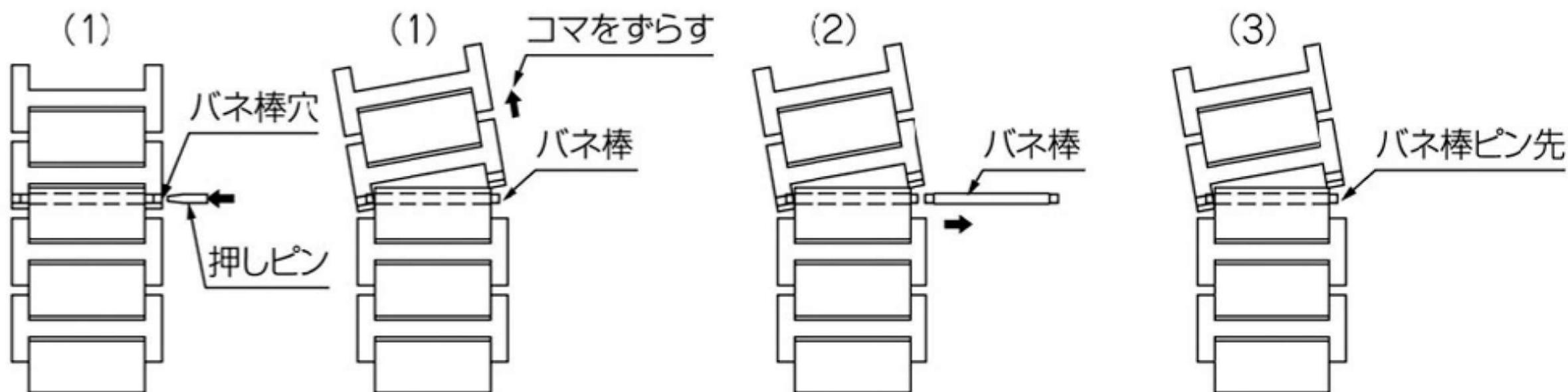
(2) 同様にして、もう一方のアジャストピンを押し出して、不必要な駒を取り除きます。



(3) バンドを連結し、アジャストピンを元のように押し込みます。

# バンドサイズ調整

## B. バネ棒方式

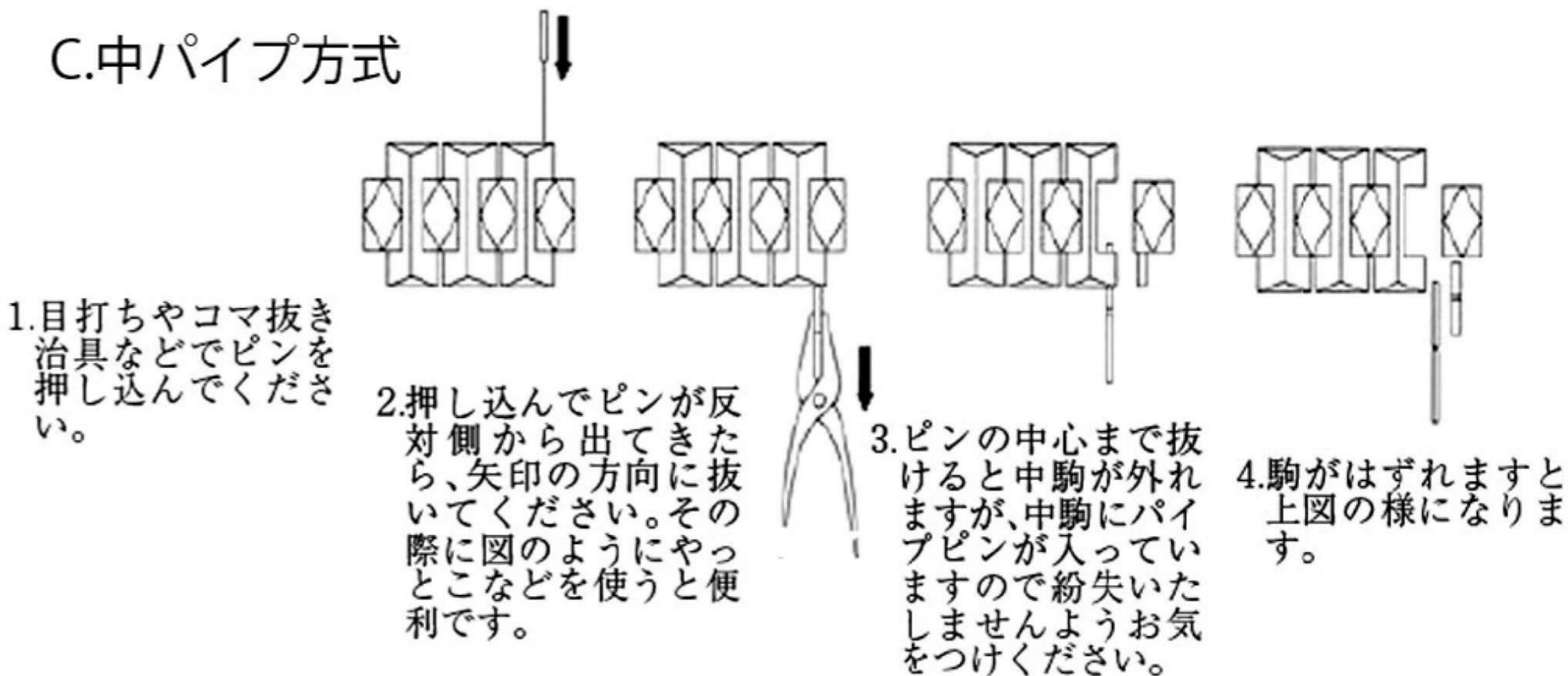


(1) バンド側面の穴部を調整金具先端で矢印方向に押しながらバンドコマをずらす。

(2) バンドコマをずらしバネ棒を抜くとバンドコマがバラバラに外れます。

(3) 長さ調整後バネ棒をバンドコマに入れバネ棒ピン先を押しながらバンドコマ穴部に固定する。

## C. 中パイプ方式



## 使用電源について（ソーラーモデル）

この時計には、一般の酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。二次電池とは、乾電池やボタン電池のような使い捨ての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。

長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下する場合があります。また、長期間使用すると、機械部品の磨耗や汚れ、潤滑油の劣化等によって持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出してください。



警告

### ■ 二次電池交換時のご注意

- ・ 二次電池は取り出さないでください。  
二次電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、時計販売店にご依頼ください。
- ・ 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。

### ※ 過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。



警告

### ■ 充電時のご注意

- ・ 充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト（球）などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受けるおそれがありますのでおやめください。
- ・ 太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となり故障の原因となる場合がありますので、おやめください。
- ・ 時計が 50℃以上にならないようにしてください。

## ■ 通常電池式時計の電池交換について

- ・ お買い上げの時計に組み込んだ電池はモニター電池です。モニター電池は時計の機能を確認する為の物で、本体価格には含まれませんので保証期間内であっても電池交換は有償となります。
- ・ 電池交換はお買い上げ店もしくは弊社にご依頼ください。

## バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

### ●金属バンド

- ・ ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・ 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・ 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・ バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。  
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)  
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- ・ チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・ さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・ 万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

### ●皮革バンド

- ・ 水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・ 水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・ 直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・ 色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・ 時計本体が日常生活用強化防水 10気圧防水になっているものでも、皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

## 防水性能について

時計修理品として持ち込まれるものの多くに、水没・水の浸食があります。水の浸食による故障のほとんどは、ご使用上の原因によるものと思われまます。一般に、非防水・日常生活防水・完全防水と大別されますが、お持ちの時計がどの部類に属するか必ずご確認ください。

日常生活防水には、3気圧(30M)防水、5気圧(50M)防水などの分類がありますが、一般に3気圧防水では、汗、雨に耐えうる程度、5気圧防水では汗、雨、水仕事に耐えうる程度の防水であり、実際に時計を水に浸すことによる素潜りや水泳には適しません。また、その防水性も年月とともに劣化します。

水没による故障はその大半が修理不能となり保証も適用されません。お持ちの時計の防水性を必ずご確認くださいの上、ご使用には細心の注意をお払いください。

### ○ストップウォッチに関して

水中や水滴のついたままでのストップウォッチ操作は出来ません。防水不良の原因となります。

使用例		洗顔など (水圧のかからない程度)	水に関係の 深い仕事や スポーツ	水泳など 直接水に つける場合	スキューバ ダイビング (空気ボンベ使用)	水滴が付いた 状態での リュウズ操作
仕 様	3気圧 (3ATM, 30METER)	○	×	×	×	×
	5気圧 (5ATM, 50METER)	○	○	×	×	×
	10気圧 (10ATM, 100METER)	○	○	×	×	×
	20気圧・30気圧 (20ATM, 200METER) (30ATM, 300METER)	○	○	○	○	×

## お手入れ、防水について

### ●日ごろからこまめにお手入れしてください

- ・ 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。

### ●りゅうずは時々回してください

- ・ りゅうずのさび付きを防止するために、時々りゅうずを回してください。

### ●日常生活防水（3気圧、5気圧）は日常生活での汗や洗顔時の水滴、雨などに耐えることのできる程度の防水機能です。

水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。

### ●水分のついたままリューズを回したり、引き出したりしないでください。 時計内部に水が入る場合があります。

\* 誤った使用による水入りの修理に関しましては、保証期間内でも有償になります。

## 磁気性能について

**この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。**

携帯電話  
(スピーカー部)

AC アダプター

バッグ  
(磁石の止め金)

交流電気かみそり

電磁調理器

携帯ラジオ  
(スピーカー部)

磁気ネックレス

磁気健康枕

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁力の影響を受けます。

## こんなときは

現象	考えられる原因	対応例
時計が止まった クォーツ時計	内蔵電池切れ	最寄りの時計店で交換、もしくは弊社までお問い合わせください。
時計が止まった ソーラー時計	充電した電気エネルギーが無くなった。	充電してください。
時計が一時的に進む / 遅れる	暑いところ、または、寒いところへ放置した。	常温に戻れば正常な状態に戻ります。時刻を合わせ直してください。
	磁気を発生するもののそばにおいた。	磁気を遠ざけると、元の精度で動きます。この場合には、時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。強い振動が加えられた。	この場合には、時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
ガラスのくもりが消えない	時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。
秒針が2秒運針をしている <sup>*1</sup>	充電した電気エネルギーが残り少なくなった。	充電してください。
毎日携帯しているが、たびたび2秒運針をみることがある。 <sup>*1</sup> 毎日携帯しているが、たびたび止まってしまう。	時計が、衣類の袖の中に隠れているなど、十分な光があたっていない	携帯中はなるべく時計が袖などに隠れないようにしてください。また、時計を外した際にもなるべく明るい場所に置くことを心掛けましょう。※時計が50℃以上にならないよう気をつけてください。
日付が日中に変わる <sup>*2</sup>	時刻合わせが12時間ずれている。	12時間、針を進めて時刻および日付けを合わせ直してください。

\*1 秒針つきモデルの場合

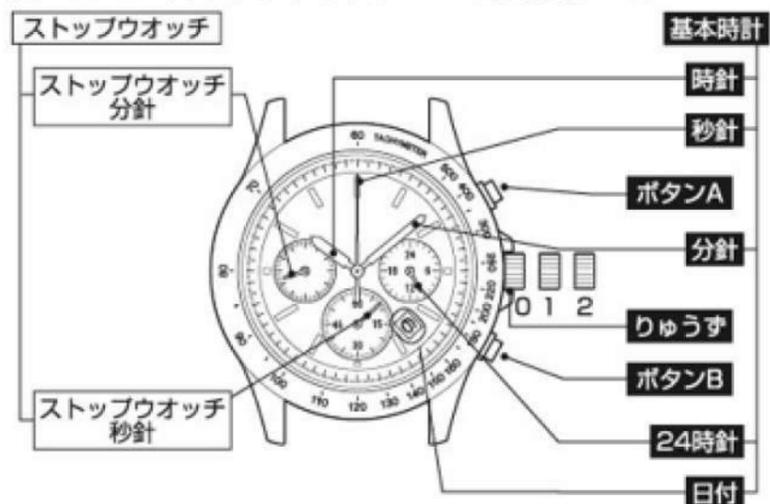
\*2 日付つきモデルの場合

※ このほかの現象についてはお買い上げ店、または弊社にご相談ください。

# ソーラークロノグラフ (VR42・VR43) の取扱説明

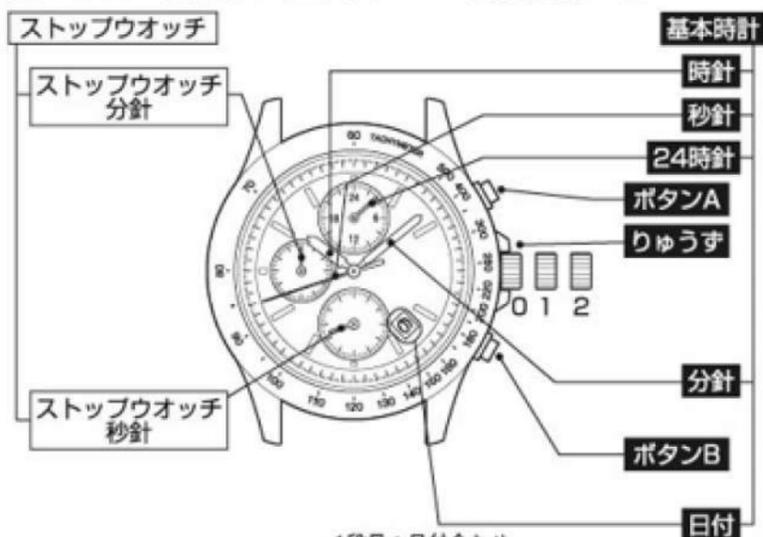
## ■各部の名称と主な働き

### ■ VR42：ストップウォッチ・24時間表示つき



1段目：日付合わせ  
2段目：時刻合わせ・針位置合わせ・ストップウォッチ針の基準位置合わせ  
※ねじロック式りゅうずの場合、身に着けているときは、りゅうずをロックしてお使いください。

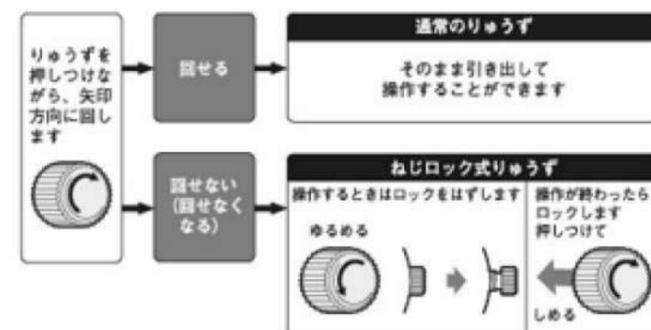
### ■ VR43：ストップウォッチ・24時間表示つき



1段目：日付合わせ  
2段目：時刻合わせ・針位置合わせ・ストップウォッチ針の基準位置合わせ  
※ねじロック式りゅうずの場合、身に着けているときは、りゅうずをロックしてお使いください。

## ■りゅうずについて

りゅうずを時計に押し付けながら右回りに回した際、回せない場合は「ねじロック式りゅうず」です。ねじロック式りゅうずの場合は、りゅうずを左回りに回してロックをゆるめてから操作を行います。操作終了後は、りゅうずを押し付けながら右に回しロックします。



※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。  
※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

## ■ストップウォッチの使い方

VR42/43は、1秒単位で最大29分59秒まで計測できます。30分経過後は、0分0秒位置に針が停止し計測がリセットされます。

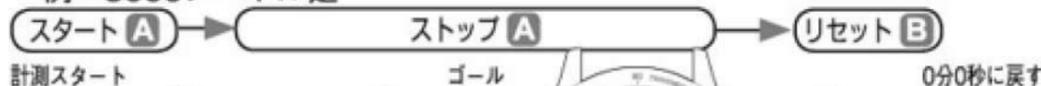
■ストップウォッチ機能部の名称とはたらき (VR42・43)



※ サブダイヤルと針の位置は機種によって異なります。  
※ 秒針が2秒ごとに動いているときは、ストップウォッチの操作をしても作動しません。

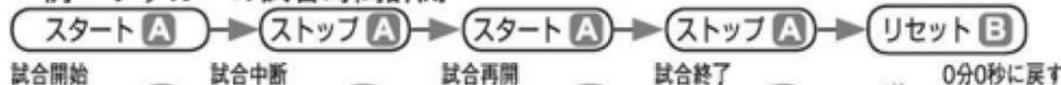
### ・通常の計測

例：5000メートル走



### ・積算で計測を行う場合

例：サッカーの試合時間計測



## ■ストップウォッチ針の基準位置を合わせる

ストップウォッチをリセットしてもストップウォッチ針が0分0秒位置に停止しないときは、基準位置がずれていることが考えられます。ストップウォッチ針の基準位置は、それぞれ「0秒・0分」です。基準位置を合わせることで、正しい計測結果が表示されます。

### VR42・VR43

- ① 時計が動いていることを確認する  
秒針が1秒ごとに運針していることを確認してください。2秒ごとに運針している、または秒針が停止している場合は、文字板に光をあてて充電してください。
- ② りゅうずを2段引く  
秒針が止まります。  
※ねじロック式りゅうずの場合は、ロックを外してください。
- ③ ボタンAまたはボタンBを押して、ストップウォッチ針（秒・分）を基準位置である「0分0秒」に合わせてください。  
ボタンA：1回押す毎に、ストップウォッチ秒針が1秒進みます。押し続けている間、早送りします。  
ボタンB：1回押す毎に、ストップウォッチ秒針が1秒戻ります。押し続けている間、早送りします。  
※ストップウォッチ針（秒・分）は、連動して動きます。
- ④ 基準時刻を合わせる  
ストップウォッチ針（秒・分）の基準位置合わせを行うと基本時計がずれます。基本時計を合わせたら操作は終了です。



## ■タキメーターの使い方

タキメーター（TACHYMETER）の数字を読み取ることで、時速や単位時間あたりの出来高などが簡単に分かります。

### ・時速の計測

- ① 1km走るのに要した時間を計測する（1分以内）
  - ② ストップウォッチ秒針が指しているタキメーターの数字を読み取る
- 例：1km走るのに45秒かかった場合・・・80km/h



### ・1時間あたりの出来高

- ① 製品1個が出来上がるのに要した時間を計測する（1分以内）
  - ② ストップウォッチ秒針が指しているタキメーターの数字を読み取る
- 例：製品1個が出来上がるのに20秒かかった場合・・・180個/h



- VR42・VR43ではストップウォッチ秒針（6時位置）を使用した簡易計測が可能です

## ■エネルギー残量の表示機能について

この時計は、ソーラー充電機能で得られたエネルギー残量を確認できます。

- ① ストップウォッチがリセットされていることを確認します。  
※ストップウォッチ使用中の場合は、リセットしてください。  
作動中の場合は、ボタンAでストップ後、ボタンBでリセットします。
- ③ ストップウォッチ秒針が「エネルギー残量」を示します。（約3秒間）

エネルギー残量	十分	半分	やや少ない
ストップウォッチ秒針の位置	45秒位置	40秒位置	35秒位置

※「エネルギー残量」は目安とお考えください。  
※秒針が2秒運動をしている場合は、文字板に光をあてて充電してください。

- ② ボタンBを2秒以上長押しします。  
ストップウォッチ秒針が、30秒を示します。



- ④ ストップウォッチ秒針は自動的に「0秒」位置に戻ります。

- フル充電で約4ヶ月作動可能です

# ■充電について

## ■充電のしかた

文字板に光をあてて充電してください。

快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。

以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、時計が止まる可能性が高くなります。

- ・時計が衣類のそでの中に隠れている
- ・光のあたりにくい環境での使用や保管が続く

※充電の際は、時計が高温にならないようにご注意ください。（作動温度範囲は■製品仕様の表を参照してください。）

※使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、表をめやすに十分な充電をしてください。

## ■充電にかかる時間のめやす

以下の時間をめやすに、充電を行ってください。

環境 (lx:ルウス)	VR42.VR43		
	A(分)	B(時)	C(時)
一般オフィス蛍光灯 (700)	108	24	—
30w20cm・蛍光灯 (3000)	27	6	83
曇天 太陽光 (10000)	8	2	25
快晴 太陽光 (100000)	1	0.2	3

A：1日分を補充するために必要な時間。

B：時計が止まっている場合に、安定した運針※になるまでに必要な時間。

※秒針付の時計の場合：1秒運針になるまで。

C：フル充電までに必要な時間。

※充電に必要な時間はモデルによって若干異なります。

# ■電池について

この時計には、一般の酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。

二次電池とは、乾電池やボタン電池のような使い捨ての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。

長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下する場合があります。

また、長期間使用すると、機械部品の磨耗や汚れ、潤滑油の劣化等によって持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出しくください。

### ⚠警告

二次電池交換時のご注意

- ・二次電池は取り出さないでください。二次電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、時計販売店にご依頼ください。

- ・一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。

※過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。

二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。

※フル充電までの所要時間については「機種別充電時間のめやす」を参照してください。

### ⚠警告

充電時のご注意

- ・充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト（球）などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受けるおそれがありますのでおやめください。

- ・太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となり故障の原因となる場合がありますので、おやめください。

- ・時計が50℃以上にならないようにしてください。

# 保証規定

時計をご使用中、正常なご使用状態で自然故障を生じた場合は、下記保証規定により、1年間無償修理を行います。

## ■保証の対象になる部分

クォーツ時計の内部部分（電子回路、駆動系機械部分）、機械式時計の内部部分（駆動系機械部品一式）、ただし電池、革ベルト等の消耗品、ケース、ブレスレット類の小キズ、汚れや硝子の破損による外観の変化は除きます。

## ■保証方法

修理・調整を原則と致します。修理の際、ガラス・文字盤・針・バンドなどは、一部代替品を使用させて頂く場合がありますのでご了承ください。

この時計の修理用部品保有期間は、通常5年を基準としています。時計の機能を維持する為に必要な修理用部品です。

## ■保証を受けるための条件

保証適用をご希望のお客様は、Miyukiまで事前にご連絡をお願い致します。（mailアドレス：info@myuki-d.jp）商品と保証書（商品と同梱）は保証対応時に必須となります。紛失のない様ご注意ください。

Miyukiまで商品・保証書をお送り頂く際の送料はお客様ご負担をお願いしております。

## ■保証の適用除外

保証期間中であっても次の場合は有償修理となりますのでご注意ください。

- 誤ったご使用、お客様自身による修理、改造、またはお取り扱いの不注意による故障。  
詳しくは取り扱いの項をご参照ください。
- 保証書の提示がない場合。
- 天災、火災、事故による故障、破損の場合。

※保証書は上記保証規定により無償修理を保証するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。